

5.30
第226号

手取給へ五日間取重たすハ致命ヲ爲スロシク自害セテ不クハ
 此ノ公平ナル故吉田君ニ對シテ非當ナル幸福ヲ得テリマスハ西組
 経営中ニハ資本家ノ利ヲ得ルヲ極メテ得ルヲ極メテ得ルハ一ハキヤ
 テハモテナイノモ言ヒマス皆々照ハシ申シマスハ古川君経営ノ
 手取リマス給ハテ不肖ナル上理ヲ明會スルハ正ニ第一キ子孫
 諸君ハ榮々業業ヲ遂テ報ヲ子孫トナリ轉土留郷強クモハノモ喜
 三二、
 業ヲ請スルハノニハ最給送送次サテ入ナリマスハ
 會長ノ結果ハ取限ナルハ期日ハキマ一日給業ヲマシマス五
 々ハ後國務ノ心ヲ盡メテ得ル業ト
 願旨ノ發給ヲ極メニシタトノテハ對料子最給送給士前ニ
 聯合ハ一キヤハノテマシマス最給送給ト雖ト亦心ニ別リテ
 ハ日本ノ既非ニハ後國務ヲキハ子ノ送還テリ然レ雖レ亦手取
 料ニ付テ少ナリトシ日本ノ一滿ニテ此ノ不合點ヲ抑セテ
 財團法人協調會大阪支所

九
大正十三年五月二十八日

財團協調會大阪支所長 藤澤 穆

常務理事 添田 敬一郎 殿

日本毛織株式會社爭議後ノ職
 工作業狀況及會社側態度之件

一、作業狀態

爭議後ノ職工出勤率ハ殆ンド平常ニ復シ且作業能率ノ如キモ從前
 ト何等變ル事ナシト讚岐工手課長ハ語ルモ事實ハ然ラザルモノ、
 如ク爭議後ノ作業狀態ハ全ク一變シ幹部ニ對スル反感ハ益々濃厚
 トナリ命令ノ如キモ徹底ヲ缺キ職工等ハ口ニ産業ノ發達ヲ唱ヘツ
 ツアルモ其ノ仕事振リハ著シク能率低下ノ模様デアアル、

財團法人協調會大阪支所